

石川金網  
株式会社



Company Profile

代表者 石川 幸男  
設立 1949年  
資本金 3000万円  
従業員数 33人  
所在地 東京都荒川区荒川 5-2-6  
TEL 03-3807-9761  
<http://www.ishikawa-kanaami.com>

「おりあみ」は日本折紙協会監修商品。  
世界の折り紙作家の想像力をかきたてている

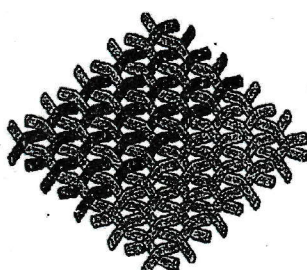
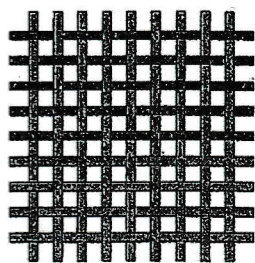
町工場のハイテク技術と日本文化が編み出した  
しなやかで強い金属製の折り紙「おりあみ」

そできた製品とも言える。  
おりあみの開発は職人が金網の端材で鶴を折ったのがきっかけだった。金属だけに水に強く、折った作品が永久に残る

と簡単に聞こえるが、金属もつ剛性と極細線の融合で強度を保ちながらしなやかで布のように織り上げるためには高度の技術力が必要となる。同社は金網に使う素材や網にする織りの方法や加工まで、金網に関する対する細かなニーズに  
え、技術を蓄積してきた。現在は髪の毛より細い20ミクロンの金属を、布のように織り上げることもできる。おりあみは金網分野の先端企業だからこ

と好評で、一般消費材分野に進出を狙う同社の戦略とも合致。美しい折り鶴は社内でも人気を集め、作ってみたいと言う人が多かったが、先端が鋭く固く危険で職人でなければ折ることができなかった。子どもでも簡単かつ安全に折れる金網を目指し、縦糸用と横糸用の金属線の平均直径が1ミリメートル以下という、極細の金属線を用いることで、金属の剛性と鋭利性を低減させ、安全性を確保した。金属なので塗装やメッキなど表面処理も

と好評で、一般消費材分野に進出を狙う同社の戦略とも合致。美しい折り鶴は社内でも人気を集め、作ってみたいと言う人が多かったが、先端が鋭く固く危険で職人でなければ折ることができなかった。子どもでも簡単かつ安全に折れる金網を目指し、縦糸用と横糸用の金属線の平均直径が1ミリメートル以下という、極細の金属線を用いることで、金属の剛性と鋭利性を低減させ、安全性を確保した。金属なので塗装やメッキなど表面処理も



線径 0.03 ~ 0.09mm の金属線を用い、折り紙のように指で折り曲げ安全に造形できる



まるで布のようにしなやか。紙では難しい造形が可能で形状保持能力も高い

今後には単なる折り紙以上の可能性を波及していく方針。現在、3枚セットで2サイズ取りそろえてネットでも販売しているが、海外からの問い合わせや注文も多くなってきた。今後は売れ行きに応じて生産体制も強化していく考えだ。海外にも展開し、クラフトショーなどに出席。まずは知名度アップを狙っていく。

簡単にでき、微細な編み目は電磁波シールド効果もあるという。